

文化的景観をご存じですか？

文化的景観は地域の暮らしや生業、文化的な関連の中で形成されてきた景観を指します。いつも見慣れた暮らしの中に文化的な価値があるので、地域住民が普段意識しにくいものといえます。近年の開発によって地域らしい個性が失われていく中、特有の生活や風土を守り伝えていく取り組みとして、平成17年度に日本の文化財保護の一領域に文化的景観が加えられました。

平取町の文化的景観

平取町は、アイヌの伝統が色濃く残る地域として国内外に広く知られています。その一方、沙流川流域の今日は、地域の近代産業とも深く関わっています。造材や牧畜、様々な食糧生産を経て、現在の基幹産業(林業やトマト・和牛・軽種馬生産等)へとつながってきました。多様な文化継承や生業、日々の暮らしの積み重ねによって、今日においても地域らしさを反映した文化的景観が形成され続けています。

平取町の取り組み

重要文化的景観(国文化財)「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」平成19年7月26日選定(北海道で初めて)



二風谷アイヌ文化博物館と沙流川、二風谷の森林



すずらん観賞会



21世紀・アイヌ文化伝承の森 植樹



アイヌ古式舞踊の継承活動(博物館ポロチセ)



チナサンケ(舟・出す：舟下ろしの儀式)

文化的景観を知るための視点場

サイン設置場所のご案内

沙流川流域の産業景観

沙流頭首工(1915-1997)は、沙流川中～下流域における農業用水の供給施設として用いられました。背後にあるこぶ山及び周辺域では、近・現代の林業生産が行われています。

 442 707 063*18



沙流頭首工近傍(二風谷)から見た文化的景観

二風谷の森林とアイヌ文化継承

にぶたに湖右岸に広がる森林・湖畔林は、アイヌの食文化やものづくりの大切な素材供給地です。アイヌ文化継承に必要な樹木を増やすために、植林や手入れが行われています。

 442 799 161*85
(博物館前駐車場)



沙流川歴史館(二風谷227番地2)から見た文化的景観



ピラトゥルナイ区域の文化的景観

戦後の林業で薪炭林として繰り返し伐採されてきた森林ですが、近年はその需要が減り、広葉樹の大径材生産地として管理されています。

 442 617 216*74



本町親水公園(本町159番地6)から見た文化的景観

問合せ先
平取町立二風谷アイヌ文化博物館
TEL. 01457-2-2892 FAX. 01457-2-2828